

Frente



三重県男女共同参画センター
フレンテみえ
フレンテとはスペイン語で
「前向き」という意味です。

2022.8

vol.90

事業報告

- “微”毒親 ～時々しんどい母との関係～
- わたしたちの〈もやもや〉を考える vol.1おかね編
おひとりさま女性がハッピーに生きるために

おうちでフレンテ

- フレンテまつり2022オンライン
with 謎解きゲーム ジェンダー城のナゾ!3
- ジェンダー感・チェックリスト =若者編=

事業案内

- ^{いま}現在を生きる『男』のための処方箋
～“絶望”の時代の“希望”の男性学入門～
- フォーカスみえ アニメ×ジェンダー
知られざる 変わりゆく時代のダンジョン? (男女+a)
- 女性に対する暴力防止セミナー
加害者は変われるのか

連載!

- 荻原くるみの「紹介したい企業！」
第2回 株式会社フジ技研(いなべ市)
- フレンテみえではこんなこともやっています
第2回 情報収集・交流の場
「フレンテみえ情報コーナー」

話そう、カラダのこと。

特集!

女性だから・・・で我慢や無理をする時代はもう終わり
「フェムテック」使って仕事も人生も思いきり楽しもう!



フェムテック

使って

仕事も人生も楽しむもう!



女性だから...で
ガマンやムリをする時代は
もう終わり

2021年の新語・流行語大賞にもノミネートされた「フェムテック」。

女性誌や新聞などでも取り上げられることも多く、様々な「フェムテック」関連商品を目にすることも増えました。そもそも「フェムテック」とはどこからやってきて、どこに向かうのか、そして今、「フェムテック」がなぜ注目されているか、詳しくみていきましょう。



「フェムテック」とは？

「female(女性)」と「technology(技術)」を組み合わせた造語で、2013年にドイツで生理管理アプリを開発するため出資を募る際にビジネスカテゴリーの1つとしてこの言葉が生まれました。その後、最新テクノロジーを使った女性の健康を支える商品やサービスが世界中で多く開発されるようになり、その波は少し遅れて日本にもやってきました。

開発されている分野は、生理や妊娠、産後、不妊、女性特有の病気、更年期など幅広く、現在はそういった技術が使われていなくても女性の健康を支えるものは「フェムテック」と呼ばれており、技術的な側面より、「女性のための」といった側面が強くなってきています。

ドラッグストアの生理用品や、デリケートゾーンケア、サプリメントのコーナーでも「フェムテック」関連商品が多く並びはじめ、デパートで専用のコーナーが出来たことも話題になりました。マスコミで取り上げられることも増え、民間でフェムテック市場がどんどん広がっています。



国の政策でも「フェムテック」

まず民間で広がり始めた「フェムテック」ですが、今は政府の政策にも入ってきています。政府の方針に初めて「フェムテックの推進」の文言が登場したのは、2021年に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針(骨太の方針)2021」。国として「フェムテック」の推進に取り組むことが示されました。

今年6月に発表された「女性版の骨太の方針」では「フェムテックの更なる推進に向けて、薬機法(旧薬事法)の整理や、実証事業を行い働く女性の就業継続を支援すること。製品等については消費者等から情報提供があれば、関係府省庁間で情報共有し、適切に対応。」と記載されました。民間市場だけのムーブメントではなく、緊急避妊薬の取り扱いの見直しなど、女性のカラダを守るための法律の改正も今後期待されています。



「フェムテック」が注目されているわけ

— 女性活躍社会のためには、まずは女性のカラダのサポートから —

2016年4月に女性活躍推進法が施行され、国を挙げて女性の活躍が推進されていますが、働く女性には、妊活、妊娠、出産といったライフイベントや、月経による体調不良、更年期、婦人科系のがんといった特有の健康課題があります。

男性中心の職場では女性特有のカラダのことを話すことにためらいがあったり、女性間であっても、状況や症状の重さが異なるため、理解してもらうのが難しいケースもあります。先日、三重県が行った不妊治療中の県民に実施したアンケートでは、治療に専念するために仕事を辞めた人は、14.1%。前回調査から4.7ポイントも上昇しています。女性の望まない離職を減らすことは、企業にとっても社会にとってもメリットがあります。女性活躍を社会全体で推進していくための一つのツールとして「フェムテック」が注目されているのです。



女性のカラダの悩みは ～隠すものから、語るものへ

これまで、女性のカラダに関する情報を手にする機会があまりなく、学校や職場でも語る事がタブー視されていました。小学生の時に生理の話は女子だけ集められて保健の先生から話を聞くことが普通でしたが、最近では男女ともに授業の中で生理のことを学ぶ学校も出てきました。このように男女ともお互いにカラダの違いを知って理解し、当たり前のように話が出来る社会実現へのステップが学校現場から始まっています。

また、最近SNSを使って著名な方がカラダの悩みや「フェムテック」を使用した経験を発信することも増えてきました。女性誌等でも取り上げられ、海外の導入事例や女性の不調や不快解消を手助けするフェムテック商品が次々と紹介されるようになりました。流行に敏感な女性たちは、新しいフェムテック商品を使ってみて、またこれをシェアする。このような流れで「フェムテック」のムーブメントが広がっています。

#MeTooや、#Kutooなど女性が語ることで世間が動きだすことがあります。「フェムテック」もブームで終わらせず、女性が快適に過ごせる、安心できる商品の継続的な開発が続いていくことが、これからの課題でもあります。

「フェムテック」を使った商品・サービスには、どんなものがあるの？

01 生理管理アプリ

生理周期を管理するアプリはたくさん開発されていますが、アプリとSNSを連携させて、パートナーや家族に自分の状態を伝えてくれたり、専門スタッフに相談できたりする機能がついているものも。SNSを通じて、パートナーにお知らせが行くため、話すタイミングなどを考えなくてよいのは楽ですし、女性のカラダのことを男性に知ってもらうきっかけにもなりますね。

02 種類が広がった生理関連用品

生理の時に使うものといえば、生理用ナプキンやタンポンが主流でしたが、最近はショーツそのものが経血を吸水してくれる「経血吸水ショーツ」や膣内に挿入して経血を溜める「経血カップ」もドラッグストアに並ぶようになりました。生理の期間を少しでも快適に心地良く過ごせるよう、自分に合った商品を見つけてみてください。選択肢が増えて、日本のあたりまえがこれから変わっていくかもしれませんね。



経血カップ

北欧では10人に1人が使っており、サウナの時に便利なのだとか。経血が肌につかないので肌あれも防止できるという声も。繰り返し使えるので地球にも優しい。

03 婦人科オンライン診断

「これくらいの症状で行っていいの？」と後回しになってしまいがちな婦人科受診。福利厚生として仕事に婦人科のオンライン受診を導入する企業も出てきました。漢方やピルの処方により仕事を休むことがなくなったり、上司からの理解が得やすくなったという声もあるようです。

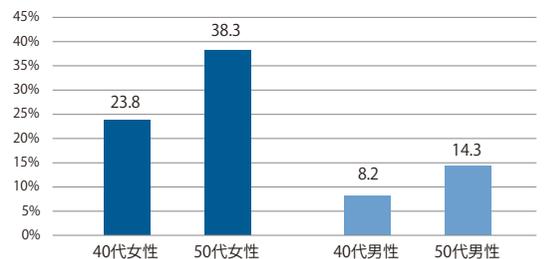
他にも、デリケートゾーンのケア用品や、骨盤底筋群(女性器回りの筋肉)のヨガやトレーニングなど、女性のカラダをケアする「フェムケア」も増えています。自分のカラダに意識を向けることでカラダの変化にも気づきやすくなり、病気の予防や早期発見にもつながることもあります。「フェムテック」や「フェムケア」を上手に使うことで少しでも心地よい毎日を送っていきましょう。

これから

フェムテックを利用して、仕事もプライベートも我慢することなく、女性が生きやすい社会は、みんなが生きやすい社会への第一歩といえます。ただし、フェムテックの技術や商品だけに頼らず、会社の制度を整えたり、女性がカラダのことや、自身のニーズや悩みを伝えたり、相談することが当たり前になる環境づくりも大切です。

また、女性のカラダも人それぞれ。生理痛の重さも、妊娠・出産時の体調、更年期の症状も様々で、ライフステージがやってくる年齢も異なります。もちろん、時代が変われば、ケアの方法も変わってきます。「自分のあたりまえ」「過去のあたりまえ」「日本のあたりまえ」を押し付けたりせず、「フェムテック」や医療・科学を上手に取り入れながら、みんなで「新しいあたりまえ」を創造していけるといいですね。

更年期障害があると考えている人の割合



(参考) 2022年 厚生労働省意識調査

先日行われた厚生労働省意識調査によると、40代～50代で更年期障害による不調を感じている女性は男性の約3倍。一方で症状がありながら医療機関を受診していない女性は約8割。症状を我慢している人が多い。オンライン診断が「当たり前」になればこの数値も変わってくるはず。

講座

自分のカラダのことを考えてみませんか？

わたしたちの〈もやもや〉を考える vol.3からだ編 来年1月に開催予定！

「情報誌Frente」の感想をお聞かせください

回答は9月27日(火)まで



開催日

6月12日

日

“微”毒親 ～時々しんどい母との関係～



講師にフェミニストカウンセラーの加藤伊都子さんをお迎えし、母親との関係にもややしたもを感じたことがある方に向けての講演会を実施しました。

講演では、毒親という言葉の元を辿ると、スーザン・フォワード著の『毒になる親(Toxic Parents)』という書籍において、子どもに必要な援助をしない親について書かれたのが始まりだということ、毒親という言葉が知られるようになり、それは時代とともに変化してきていることを話していただきました。今回のテーマである“微”毒親とはどんな親なのかということ、『毒になる親』に書かれているようなことはしないけれど、過干渉だったり、しようとしたことを止められたり、娘からすると自分を否定されているような言動にもややもやを感じるような親のこと。娘側が感じる毒は、母からすると「女性はこうでなければいけない」という、その時代のジェンダー

役割の中で娘を育てること、それが母親である自分の役割だと思ってきたからこそその言動であるということ、さまざまな書籍の紹介も交えながら伝えていただきました。

また、母親という女性は、いったいどんな環境で育ってきたのか、どんな時代に生きてきたのか、どんな人間関係の中にいたのかを知ること、母から自分への言動を客観的に見ることができる。それは「母を許すこと」なのではなく、「自分自身を許すためのこと」だというメッセージをいただきました。参加者の方からは「自分のせいじゃないと思え、涙が出てきた。」という感想がありました。

開催日

7月3日

日

わたしたちの<もやもや>を考える vol.1 おかね編
おひとりさま女性がハッピーに生きるために

ファイナンシャルプランナーと行政書士を講師に迎え、特に「おひとりさま女性」が自分らしく楽しく生きていくための方法を考える「お金」の講座です。講師3名とファシリテーター1名を囲んで、座談会形式で開催しました。事前に皆さまからお金に関する<もやもや>を募り、それに回答いただくスタイルです。事前にいただいた<もやもや>は60件以上。皆さまの関心の高さが伺えました。

講座では、いただいた<もやもや>をいくつかのテーマに分け、老後の資産管理、相続、病気や働けなくなったときのこと、子どもの教育費、貯蓄のしかた、離婚にかかる費用など、テーマごとにいくつかの<もやもや>を紹介し、講師からアドバイスをいただきました。「老後に必要な資金については、ひとりひとり違う。ライフプランやキャッシュフロー表を作ってみては。」「元気なうちに任意後見契約や死後事務委任契約を結んでおくとい

いかも。」「今は進学の夢を諦めなくて良いような制度が充実してきている。まずは奨学金についてよく知って。」など、多くのことを教えていただきました。

また、講師が自身の離婚やDV被害、病気の克服について言及し、実体験を元にしてお話しいただく様子が印象的でした。参加者からは、「講師の方々逆境でのバイタリティを感じられる話を聞いたのがよかった。」「先生方も最初からすごかったわけではないのですね。」などといった感想が多く寄せられました。

みんなで
やってみて。

オンライン おうちでフレンテ。

フレンテまつり2022 オンライン with 謎解きゲーム ジェンダー城のナゾ! 3

毎年恒例、フレンテみえ登録団体の活動発表のイベント「フレンテまつり」。皆さんは、もうご覧いただきましたか？
特設サイト上で登録団体の皆さんの活動内容がご覧いただけるほか、フレンテみえオリジナルの「謎解きゲーム」にも挑戦できます。
楽しく男女共同参画について学べる「謎解きゲーム」は第3弾となり、新たなストーリー・問題となって登場。たくさんの方に挑戦していただいています！
最後まで挑戦していただいた方には、フレンテみえオリジナルの記念品をプレゼント。あなたの挑戦をお待ちしています！



ジェンダー城の
大切な王冠が
盗まれてしまった!

あなたはすべてのナゾを解いて、
ジェンダー城の王冠を取り返すことができるか？



フレンテまつり特設サイトはこちらから!

記念品は、数量限定・先着順です。
最後まで進んだ後に出てくる申込フォーム
からお申込みください。
公開期間を9月30日(金)まで延長します。



GENDER ジェンダー感・チェックリスト CHECK LIST

Youth Edition = 若者編 =



ジェンダー感・チェックリスト = 若者編 =

中学生～大学生くらいの若い世代のみなさんが、ジェンダー平等に向けておさえておきたい「チェック項目」をあつめてみました。

みなさんは、「ジェンダー」って聞いたことがありますか？
ジェンダーとは、「社会的、文化的につくられる性別」のこと。「自分は、親世代と違って、ジェンダー感覚は全然問題ない!」と思っても、実は知らず知らずのうちに自分やまわりの「思い込み」からジェンダーにとらわれてしまっていることもあるかも…。
あなたは「ジェンダー」にとらわれず、自分らしく生きられていますか？

監修 男女共同参画みえネット
special thanks 三重短期大学ボランティアサークルのみなさん

チェックリストは
こちらから!



自分のジェンダー感覚を知るために、一般的に「正解」だと思うものを選ぶのではなく、自分自身が自然に「そうだな」と思うものをチェックしてみましょう!

事業予告

9/10

フォーカスみえ

アニメ×ジェンダー

～知られざる 変わりゆく時代のダンジョン？

男女+a

いまや日本を代表する大きなカルチャーとなった「アニメーション」。私たちの多くが幼いころから親しみ、心から楽しみ、一緒に冒険したり恋をしたり…。なかには作品や登場人物から“生き方”を学んだという方もいらっしゃるのでは。

そんな私たちのすぐ身近にあるアニメーションは、時に現実社会の課題を浮き彫りにすることもあります。特に、時代によって移り変わる「ジェンダー」や性のあり方などが作品にどのように反映され表現されてきたのか、皆さんは気にしたことがありますか？私たちは知らず知らずのうちに、その影響を受けてきているのかもしれない。

今年度のフォーカスみえは、そんなアニメーションとジェンダーとの関わりについて、同研究の第一人者でいらっしゃる須川亜紀子さんに詳しくお話をうかがいます。これまでにない新たな視点で、時代のダンジョン(迷宮)へ踏み込んでみませんか。



日時 9月10日(土)
13:30～15:00

参加無料

会場 三重県総合文化センター内
生涯学習センター2階 視聴覚室
対象 テーマに関心のある方
定員 70名
講師 須川亜紀子さん
(横浜国立大学教授 PhD(博士)
日本アニメーション学会会長)

託児 あり 要事前申込
1歳6ヶ月～小学3年生程度
子ども一人につき500円
託児申込締切8/27(土)



11/5

女性に対する暴力防止セミナー 加害者は変わるのか

DVや性暴力の被害者支援のために数多くの施策が行われています。ですが被害者支援と同じように大切なのが、加害者へのアプローチです。

DVや性暴力の加害者と聞いて、皆さんはどのような人物像を思い浮かべますか？普段から乱暴で恐ろしい人？誰にでも暴力をふるうような非常識な人？加害者と聞くと暴力的な人物だと思いがちですが、実際は周囲から「まさかあの人か」と言われるほど、一見暴力をふるわなそうな人が加害者となることが少なくありません。そして加害者の多くは、自分の行為が問題だという認識がありません。

そのような加害者を前にしたときに、私たちに一体何ができるのか。本当に加害者は変わるのか。どうすれば変わることができるのか。当事者の誰もが持つ問いに、加害者臨床、DV加害者暴力克服プログラムに携わってこられた講師から事例を交えてお話いただきます。



日時 11月5日(土)
13:30～15:30

参加無料

会場 三重県総合文化センター内
生涯学習センター2階 視聴覚室
対象 テーマに関心のある方
定員 70名
講師 斎藤 章佳さん
(精神保健福祉士・社会福祉士)

託児 あり 要事前申込
1歳6か月～小学3年生程度
子ども一人につき500円
託児申込締切10/22(土)



11/20

男性講座

いま 現代を生きる『男』のための処方箋 ～“絶望”の時代の“希望”の男性学入門～

目まぐるしく変わる社会情勢の中、多くの男性もまた、モヤモヤを感じたり、ストレスを抱え込んだりすることが増えてきていると言われています。

男性のそういった生きづらさから解放していく上でも鍵となるのが「ジェンダー平等」。

男性の皆さん、ジェンダー平等の話は女性や性的マイノリティの方だけの問題だと思いませんか？今、いろんなメディアで目にしたり、耳にしたりするこの言葉の意味するところを、一度男性の目線で学んでみましょう。あなたを苦しめる様々ながらみが見えてくるかもしれませんよ。

今回は「男性学」の第一人者である田中俊之さんを講師に迎え、これからの時代、男性が希望を持って世の中を生きていくためのジェンダー平等のとらえ方、考え方を解説していただきます。日々モヤモヤやストレスを抱え込んでいる男性の皆さん、ちょっとお話聞いてみませんか？



日時 11月20日(日)
13:30～15:00

参加無料

会場 三重県総合文化センター内
生涯学習センター2階 視聴覚室
※この講座は以下の市町においてサテライト会場を設置します！
【伊勢市、伊賀市、東員町】
詳しくはチラシ、HPをご覧ください。

対象 テーマに関心のある男性
定員 30名
講師 田中 俊之さん
(大妻女子大学人間関係学部准教授)

託児 あり 要事前申込
1歳6か月～小学3年生程度
子ども一人につき500円
託児申込締切11/6(日)





フレンテ所長
荻原くるみの

フレンテみえ所長の荻原の「紹介したい企業」シリーズ。今年度は、男女共同参画の視点をもって様々な取組をすすめている三重県内の企業さんを、4回にわたってご紹介してまいります！

紹介したい企業!

第2回 株式会社フジ技研(三重県いなべ市)

株式会社フジ技研は1988年に創業した、いなべ市にある自動車開発支援会社です。早くから女性活躍推進のための取組をはじめ、今では鹿児島やタイにもグループ会社を設立し、250名の従業員が働いています。そんなフジ技研で女性活躍に熱心に取り組む取締役常務・カゴシマ工場 代表取締役社長の鏡谷有紀さんにお話をお聞きました。



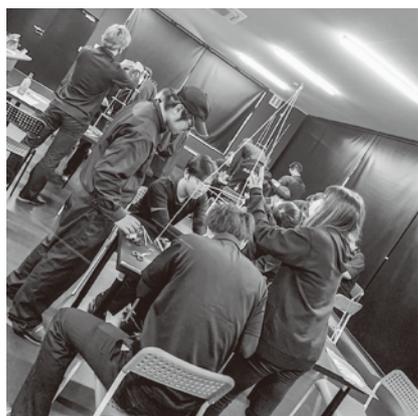
鏡谷有紀さん

フジ技研さんでは早い時期から女性採用の強化やモノづくり女子を積極的に応援していらっしゃいますね。

男性社員を集めるのに苦労していたなか、体制を整えれば女性も活躍できるのではないかと考えました。当初は女性の採用に拒否感も大きかったのですが、株式会社ワーク・ライフバランスの小室淑恵さんの働き方改革や女性活躍のセミナーを聴き、背中を押されました。実はそれまでは弊社でも毎月100時間の残業があるような状態でしたが、「女性が活躍できる会社は男性も活躍できる」、「多様な働き方は子どもたちに向けたメッセージ」ではないかと感じるようになり、また、今のままでは将来生き残れないのではないかと不安もあって突き進んだ結果、今では社員の女性割合は33%になり、様々な取組を重ねながら残業時間の減少も実現させています。

就業環境の面では、社員食堂にも力を入れています。ある若い従業員の生活習慣を探ると、食生活が整っていないことがわかりました。工場移転の際に社員食堂を建設し、昼食、夕食を格安で提供しています。現在、利用率も高く、うちの会社で最も成功している取組の一つです。

社員研修も充実されているそうですね。



社員研修の様子

弊社では多くの自社セミナーを行っており、昨年度の講座数は138でした。その中にはワークライフバランスやSDGsといったたくさんのテーマがあります。その中の一つに「女性セミナー」というものがあり、その参加者の中から挙がってきた提案が「子連れ出勤」でした。私は子どもの世話があるときは休ませてあげたい

と考えていたのですが、社員からの「もっと働きたい」という声を聞いて、私の考えが押し付けられたのだと気づき、導入を進めることにしました。ちょうど運動不足や腰痛に悩む方のために従業員用のジムを工場横に併設してあるので、社員の家族や地域の方を保育士として採用し、そこで子どもたちを預かっています。

子連れ出勤が始まった当初は女性を対象にした制度でしたが、今では男性も利用できるようになり、男女比率としては半々くらいです。子連れ出勤の際は基本的に定時退社するようにしています。

鏡谷さんの「いいな」と思ったことをやろうとする姿勢が働きやすい職場につながっているんですね。最後に読者の方にメッセージをお願いします。

7月にモノづくり複合施設「FujiHub(フジハブ)」をオープンしました。そのなかの工房で子どもたちにモノづくりを教えています。これを私たちは「10年後の投資」と呼んでいるのですが、ここでモノづくりを体験した子どもたちが、モノづくりの楽しさを知って、将来弊社で働いてくれたらいいな、と思っています。

弊社はまだまだこれから大きくしていくつもりですので、面白いモノづくりをしたいな、と思っている人がいればぜひ弊社にきてください!



モノづくり複合施設「FujiHub」。企業と人、人と人が繋がり、今までになかったモノを形にしたり、新しいことにチャレンジできる場所だそうです。

株式会社フジ技研

〒511-0275 三重県いなべ市大安町鍋坂2262-8

電話 0594-78-0200

ホームページ <https://www.fujigiken.jp/>

第2回

フレンテみえではこんなこともやっています
情報収集・交流の場「フレンテみえ情報コーナー」

フレンテみえでは、男女共同参画のまちづくりのために様々な取組を行っていますが、その最初の“柱”としているのが「情報発信」機能です。こちらの情報誌Frenteの発行やホームページの運用などもその一環なのですが、もうひとつ。ご来館の皆さまに自由にご活用いただけるのが、センター1階に設置されている「フレンテみえ情報コーナー」です。

フレンテみえ情報コーナーでは、男女共同参画や生き方に関する図書や雑誌、絵本を揃え、貸出も行っていきます。役立つ本、小説、エッセイ、専門書など、あなたの求める本が見つかるかもしれません。

4つのスペースであなたの知りたいをサポート！！

キッズスペース

お子さまには絵本や子ども向け図書などを。また、大人には子どものそばで新しい情報や知識を得られるように、図書・雑誌などが並んでいます。子どもが楽しく遊びながら学び、親が新しい一歩を踏み出すきっかけの場として、ご活用ください。



ブックスペース

男女共同参画についてのさまざまな知識や情報を得ていただけるだけでなく、生き方や子育てについてのヒントを得られる書籍・雑誌や新聞を配架し、リラックスした雰囲気なか皆さまが新しい一歩を踏み出すお手伝いをします。また、フレンテみえで主催する講座に関連する図書の企画展示なども行っています。



情報スペース

フレンテみえ主催事業の案内や、男女共同参画関連情報などあらゆる情報を提供するスペースです。関係機関の啓発ツールやフレンテみえの登録団体・企業の情報、また、県内のさまざまなイベント情報が寄せられています。



レクチャースペース

資料や図書を使用した男女共同参画の調査研究や小規模なレクチャーを実施するスペースです。また、フレンテみえ登録団体用の貸出スペース(打合せ等)としてもご利用いただいています。



フレンテみえ施設利用の合間にも、ぜひお気軽にお立ち寄りください。皆さまのご利用をお待ちしています！

フレンテみえ情報コーナー

Open 9:00~19:00 (現在、17:00で閉所しています)
Close センター休館日に準ずる。
※主催事業の関係で予告なくクローズする場合がございます。ご了承ください。



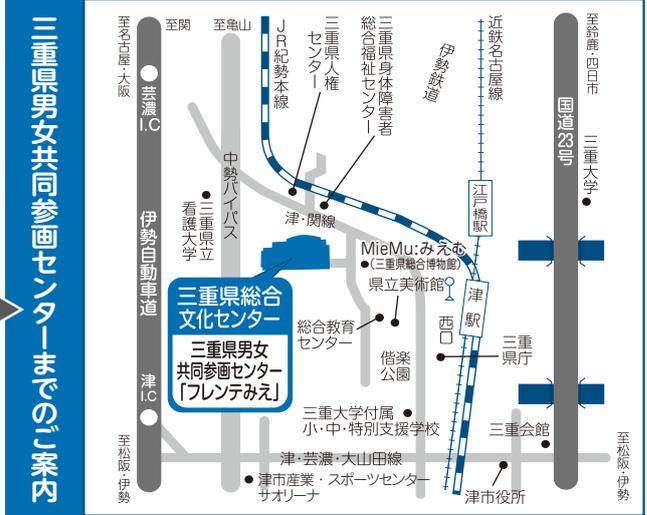
このコーナーでは、イベントや事業ではないフレンテみえの隠れた(?)取組について、スタッフの目線でご紹介していきます。気軽に読んでいただきながら、知られざるフレンテみえを発見していただけたら嬉しいです。次回もお楽しみに。

フレンテみえって、なに？

三重県の男女共同参画社会を推進する拠点施設として津市の三重県総合文化センター内に平成6年オープン。情報発信・研修学習・相談・調査研究・参画交流および人材育成の「6本の柱」で、様々な事業を展開しています。ぜひ皆さま、お気軽にお立ち寄りください！

～詳しい情報はホームページまで～

フレンテみえ



休館日 毎週月曜日 年末年始 (12月29日から1月3日まで)
交通 ■バス/津駅西口1番のりばから約5分
■徒歩/津駅西口から約25分
■自家用車/伊勢自動車道芸濃インターから約15分、津インターから約10分
※駐車場は1400台(無料)。できるだけ公共の交通機関をご利用ください。

発行 三重県総合文化センター
三重県男女共同参画センター フレンテみえ
〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234番地
TEL:059-233-1130 FAX:059-233-1135
URL https://www.center-mie.or.jp/frente/
E-mail: frente@center-mie.or.jp

生き方・家族・人間関係・離婚・職場 などなど…
男女がともに自分らしく生きるために、様々な悩みの相談をお受けします

女性のための電話相談 秘密厳守・相談無料

フレンテみえ相談室 専用ダイヤル 059-233-1133

相談時間	曜日	月	火	水	木	金	土	日
朝 9:00~12:00	休館日	●	●	●	●	●	●	●
昼 13:00~15:30	休館日	●	—	—	●	●	●	●
夜 17:00~19:00	※	—	—	●	—	—	—	—

※祝日の場合「朝・昼」相談あり(翌平日が休館日)

フレンテみえ相談室のご案内
(切り取ってご利用ください)

*このほか、女性のための面接相談・法律相談・心理相談と、男性のための電話相談・みえにじろ相談を実施中。詳しくはお問合せください。



再生紙を使用しています。